大相撲三月場所

於大阪府立体育會館

人が主役の21世紀へ──
HUMANITY PLACE

■不動産部門
ビッグスケールのエステートビジネスへの絶対の自信と誇り。
大型不動産売却・購入の際は御相談下さい。

■ミドーレークホテル東郷
鳥取県東伯郡東郷町長江
☎0858(32)0915レークトーゴーまで
- 大阪営業所…☎06(536)7300㈹
- 東京営業所…☎03(3584)7400㈹

■ホテルMIDO天神橋
大阪市北区天神橋6丁目6番19号
☎06(354)1111まで

■MIDO道頓堀ビル
4F/ラウンジ ウエストコースト
3F/カジュアルハウス つぼ八
2F/御堂画廊
1F・B1/ファッショナブルパチンコ
パーラー サンマルカ
大阪市中央区道頓堀2丁目2-20
道頓堀ニュールビア隣り

■マックロイヤルスポーツクラブ鳴尾
兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目1-1
☎0798(47)2200まで

■羊蹄カントリークラブ
札幌・千歳から60分でティーアップ。
えぞ富士・羊蹄山を望む18ホール・パー72

■札幌：☎011(241)2400㈹
■東京：☎03(3584)7800㈹
■大阪：☎06 (536)7500㈹

HOTEL
MIDO
天神橋

レジャービル
MIDO
道頓堀ビル

マックロイヤルスポーツクラブ鳴尾

MIDO 御堂開発株式会社

取締役社長 黒澤日出雄

本社：大阪市西区立売堀1丁目2番14号本町産金ビル
TEL.(06)536－7500㈹
東京・札幌・西宮・鳥取・沖縄・福岡・奈良・和歌山・オーストラリア・アメリカ・フランス

三月場所展望

大阪の街に春を呼ぶ大相撲春場所。今年の春場所は例年になく話題が豊富です。

旭富士が横綱として春場所の土俵に初登場です。華麗な不知火型の土俵入りは、人気を呼ぶことでしょう。四横綱がそろっているところへ、強引に割り込もうとしているのが充実の霧島です。初場所の見事な優勝に続き、浪花の土俵でも天下を取れば横綱昇進も間違いないでしょう。

新進気鋭の琴錦の大関挑戦も楽しみです。きっぷのいいスピード相撲は目を見張らせます。速攻と技の冴えで大型力士を次ぎ次ぎに倒していく琴錦に、大相撲の醍醐味を見ることでしょう。初土俵から負け越し知らずで三役の座を射止めた2㍍4㌢の巨漢・曙の十五日間も興味を呼びます。

若い力士が成長しています。負けてたまるか、と迎え討つ上位陣、古豪力士たち。一番一番の熱戦が熱気となって大阪府立体育会館をつつむことでしょう。

そして千秋楽。一年前の三人による同点決勝の巴戦が再現されたら、もう最高です。

軍配で　いやいやをして
　　　　もめるなり

投げの打ち合いから両力士同体で落ちる。際どい勝負は行司泣かせですが、新旧激突の三月場所には、そんなシーンが多く見られるでしょう。

ごあいさつ

ようやく寒さもやわらぎ、春も近づいてまいりました。

平素は皆様から絶大なるご支援ご厚情をいただきまして、まことにありがたく心から御礼申し上げます。

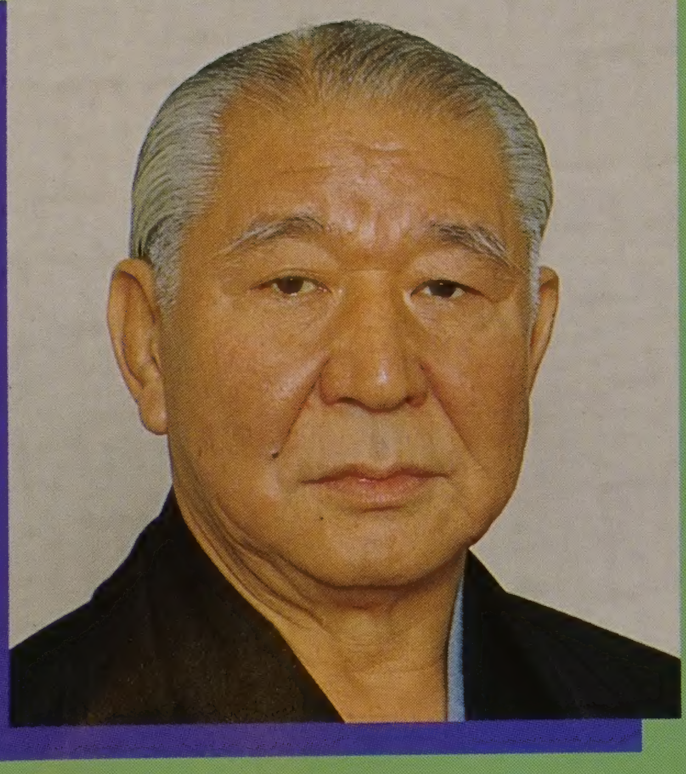
今場所は横綱・大関以下充実いちじるしい上位陣と、新進古豪の各力士は、稽古に精進してきた成果を遺憾なく発揮し、相撲ファンの皆様のご期待にお応えできるものと存じます。

なにとぞ一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成三年三月

財団法人　日本相撲協会

理事長　**二子山　勝治**



綱

ZUNA

北勝海

HOKUTOUMI

北勝海信芳(ほくとうみのぶよし)【九重部屋】 北海道広尾郡広尾町

本名・保志信芳　27歳

身長180㎝　体重147㎏　左四つ・押し・寄り　565勝271敗

初土俵／54年3月　新入幕／58年9月

優勝／7回　殊勲賞／3回　敢闘賞／3回　技能賞／5回

場所数／73　金星／1

旭富士

ASAHIFUJI

横

YOKO

旭富士正也(あさひふじせいや)【大島部屋】青森県西津軽郡木造町
本名・杉野森正也　30歳
身長187㎝　体重145㎏　右四つ・寄り　540勝304敗
初土俵／56年1月　新入幕／58年3月
優勝／3回　殊勲賞／2回　敢闘賞／2回　技能賞／5回
場所数／62　金星／2

大乃国
ONOKUNI

大乃国　康（おおのくにやすし）【放駒部屋】北海道河西郡芽室町
本名・青木　康　28歳
身長189㎝　体重186㎏　右四つ・寄り・吊り　544勝311敗
初土俵／53年3月　新入幕／58年3月
優勝／2回　殊勲賞／5回　敢闘賞／2回
場所数／79　金星／4

CHIYONOFUJI

横
YOKO

千代の富士貢(ちよのふじみつぐ)【九重部屋】 北海道松前郡福島町
本名・秋元貢　35歳
身長182㎝　体重125㎏　右四つ・上手投　1044勝434敗
初土俵／45年9月　新入幕／50年9月
優勝／31回　殊勲賞／1回　敢闘賞／1回　技能賞／5回
場所数／124　金星／3

大関
OZEKI

小錦
KONISHIKI

霧島
KIRISHIMA

小錦八十吉(こにしきやそきち)
【高砂部屋】米国ハワイ、オアフ島
本名・サレバ・アティサノエ　27歳　身長187㎝　体重239㎏
突き・押し　427勝222敗
初土俵／57年7月　新入幕／59年7月　優勝／1回
殊勲賞／4回　敢闘賞／5回　技能賞／1回
場所数／53　金星／2

霧島一博(きりしまかずひろ)
【井筒部屋】鹿児島県姶良郡牧園町
本名・吉永一美　31歳　身長185㎝　体重131㎏
左四つ・寄り　545勝473敗
初土俵／50年3月　新入幕／59年7月　優勝／1回
殊勲賞／3回　敢闘賞／1回　技能賞／4回
場所数／97　金星／2

関脇
SEKIWAKE

栃乃和歌 TOCHINOWAKA

琴錦 KOTONISHIKI

栃乃和歌清隆(とちのわかきよたか)
【春日野部屋】和歌山県海草郡下津町
本名・綛田清隆　28歳　身長190㎝　体重154㎏
右四つ・寄り・押し　252勝201敗
初土俵／60年3月　新入幕／62年1月
殊勲賞／1回　敢闘賞／2回
場所数／37　金星／2

琴錦功宗(ことにしきかつひろ)
【佐渡ヶ嶽部屋】群馬県群馬郡箕郷町
本名・松澤英行　22歳　身長176㎝　体重133㎏
突き押し　239勝176敗
初土俵／59年3月　新入幕／元年5月
殊勲賞／3回　敢闘賞／1回　技能賞／2回
場所数／43　金星／2

小結
KOMUSUBI

寺尾 TERAO

曙 AKEBONO

寺尾常史（てらおつねふみ）
【井筒部屋】鹿児島県姶良郡加治木町
本名・福薗好文　28歳　身長184㎝　体重110㎏
突張り　419勝387敗
初土俵／54年7月　新入幕／60年3月
殊勲賞／1回　敢闘賞／2回　技能賞／1回
場所数／71　金星／4

曙　太郎（あけぼのたろう）
【東関部屋】米国ハワイ・オアフ島
本名・チャド・ローウェン　21歳　身長204㎝　体重193㎏
突き・押し　114勝53敗
初土俵／63年3月　新入幕／2年9月
殊勲賞／1回　敢闘賞／1回　場所数／19　金星／1回
場所数／19　金星／1

前頭
MAEGASHIRA

東前頭1 久島海
KUSHIMAUMI

久島海啓太（くしまうみけいた）
【出羽海部屋】和歌山県新宮市　本名・久嶋啓太
二五歳　身長一八七㎝　体重一八五㎏　右四つ・寄り
初土俵／六三年一月　新入幕／元年七月　敢闘賞／一回
一三一勝九六敗　場所数／二〇

東前頭2 若瀬川
WAKASEGAWA

若瀬川剛充（わかせがわよしみつ）
【伊勢ヶ浜部屋】山形県酒田市　本名・佐藤　亙
二八歳　身長一八七㎝　体重一五〇㎏　右四つ・寄り
初土俵／五三年三月　新入幕／五八年一月
四九五勝四三六敗　場所数／七九　金星／一

西前頭1 貴闘力
TAKATORIKI

貴闘力忠茂（たかとうりきただしげ）
【藤島部屋】兵庫県神戸市　本名・鎌苅忠茂
二三歳　身長一八〇㎝　体重一三六㎏　突き・押し
初土俵／五八年三月　新入幕／二年九月　敢闘賞／一回
二三七勝一七二敗　場所数／四九　金星／一

西前頭2 孝乃富士
TAKANOFUJI

孝乃富士忠雄（たかのふじただお）
【九重部屋】東京都大田区　本名・安田忠夫
二七歳　身長一九一㎝　体重一四二㎏　左四つ・寄り
初土俵／五四年三月　新入幕／六一年五月　敢闘賞／一回
三七三勝三八四敗　場所数／七三　金星／二

東前頭3

旭道山
KYOKUDOZAN

旭道山和泰（きょくどうざんかずやす）
【大島部屋】鹿児島県大島郡徳之島町　本名・波田和泰
二六歳　身長一八一㎝　体重一〇〇kg　左四つ・上手投げ
初土俵／五五年五月　新入幕／元年一月　敢闘賞／一回
三〇六勝二七三敗　場所数／六六

東前頭4

花ノ国
HANANOKUNI

花ノ国明宏（はなのくにあきひろ）
【放駒部屋】大阪府藤井寺市　本名・野口明宏
三一歳　身長一八四㎝　体重一四四kg　右四つ・寄り・上手投げ
初土俵／五〇年三月　新入幕／六三年三月　敢闘賞／一回
四七六勝四四三敗　場所数／九七　金星／一

西前頭3

安芸ノ島
AKINOSHIMA

安芸ノ島勝巳（あきのしまかつみ）
【藤島部屋】広島県豊田郡安芸津町　本名・山中勝巳
二四歳　身長一七五㎝　体重一三七kg　左四つ・寄り
初土俵／五七年三月　新入幕／六三年三月
三〇四勝二四三敗　殊勲賞／四回　敢闘賞／三回　技能賞／一回
場所数／五五　金星／一一

西前頭4

恵那櫻
ENAZAKURA

恵那櫻徹（えなざくらとおる）
【押尾川部屋】岐阜県恵那郡坂下町　本名・早川徹
三〇歳　身長一八〇㎝　体重一三五kg　突き・押し
初土俵／五二年三月　新入幕／六二年一一月　敢闘賞／一回
四二〇勝四〇一敗　場所数／八五

東前頭 5

三杉里

MISUGISATO

三杉里公似(みすぎさとこうじ)
【二子山部屋】滋賀県甲賀郡信楽町　本名・岡本公似
二八歳　身長一八五㎝　体重一五一㎏　右四つ・上手投げ
初土俵／五四年一月　新入幕／六三年五月
三九〇勝三四七敗
場所数／七四　金星／二

東前頭 6

琴椿

KOTOTSUBAKI

琴椿克之(ことつばきかつゆき)
【佐渡ヶ嶽部屋】沖縄県那覇市　本名・渡嘉敷克之
三〇歳　身長一八八㎝　体重一四四㎏　右四つ・寄り
初土俵／五一年三月　新入幕／三年一月
三七〇勝三一〇敗　場所数／九一

西前頭 5

巨砲

OZUTSU

巨砲丈士(おおづつたけし)
【大鵬部屋】三重県四日市市　本名・松本隆年
三四歳　身長一八二㎝　体重一四〇㎏　右四つ・寄り・上手投げ
初土俵／四六年五月　新入幕／五四年三月
殊勲賞／二回　敢闘賞／一回　技能賞／一回
七〇四勝七三八敗　場所数／一二〇　金星／一〇

西前頭 6

巴富士

TOMOEFUJI

巴富士俊英(ともえふじとしひで)
【九重部屋】秋田県鹿角市　本名・黒澤俊英
二〇歳　身長一九一㎝　体重一四五㎏　左四つ・寄り
初土俵／六一年五月　新入幕／三年一月
敢闘賞／一回
一三八勝七六敗　場所数／三〇

東前頭 7

琴ヶ梅

KOTOGAUME

琴ヶ梅剛史（ことがうめつよし）
【佐渡ヶ嶽部屋】富山県婦負郡八尾町　本名・北山　聡
二七歳　身長一八〇cm　体重一七六kg　右四つ・寄り　突き
初土俵／五四年三月　新入幕／六〇年三月
四三五勝三七八敗　殊勲賞／一回　敢闘賞／四回　技能賞／二回
場所数／七三　金星／二

東前頭 8

太寿山

DAIJYUYAMA

太寿山忠明（だいじゅやまただあき）
【二子山部屋】新潟県新津市　本名・坂爪忠明
三一歳　身長一八二cm　体重一五九kg　右四つ・寄り
初土俵／五〇年三月　新入幕／五五年九月
殊勲賞／一回　敢闘賞／三回
五七六勝五九七敗　場所数／九七　金星／七

西前頭 7

陣岳

JINGAKU

陣岳　隆（じんがくたかし）
【井筒部屋】鹿児島県曽於郡志布志町　本名・中山　隆
三一歳　身長一九〇cm　体重一四八kg　突き・押し
初土俵／五二年五月　新入幕／五八年一月
四八九勝五〇五敗　場所数／八四　金星／二

西前頭 8

大翔山

DAISHOYAMA

大翔山直樹（だいしょうやまなおき）
【立浪部屋】石川県鳳至郡穴水町　本名・山崎直樹
二四歳　身長一八三cm　体重一七七kg　右四つ・寄り
初土俵／元年一月　新入幕／二年九月
八三勝四六敗　場所数／一四　金星／一

東前頭9

板井

ITAI

板井圭介（いたいけいすけ）
【大鳴戸部屋】大分県臼杵市　本名・板井圭介
三五歳　身長一七六㎝　体重一三九㎏　突き・押し
初土俵／五三年九月　新入幕／五五年九月
殊勲賞／一回　技能賞／一回
四八三勝四八〇敗　場所数／七六　金星／三

東前頭10

琴富士

KOTOFUJI

琴富士孝也（ことふじたかや）
【佐渡ヶ嶽部屋】千葉県千葉市　本名・小林孝也
二六歳　身長一九〇㎝　体重一五〇㎏　左四つ・寄り
初土俵／五五年三月　新入幕／六三年九月　敢闘賞／一回
三四五勝三一〇敗　場所数／六七　金星／一

西前頭9

逆鉾

SAKAHOKO

逆鉾伸重（さかほこのぶしげ）
【井筒部屋】鹿児島県姶良郡加治木町　本名・福薗好昭
二九歳　身長一八〇㎝　体重一一二㎏　両差し・寄り
初土俵／五三年一月　新入幕／五七年一月
殊勲賞／五回　技能賞／四回
四九八勝四八五敗　場所数／八〇　金星／七

西前頭10

北勝鬨

KITAKACHIDOKI

北勝鬨準人（きたかちどきはやと）
【伊勢ノ海部屋】北海道帯広市　本名・久我準人
二五歳　身長一八二㎝　体重一三五㎏　右四つ・寄り
初土俵／五六年五月　新入幕／平成元年一月
三二六勝二七六敗　場所数／六〇

東前頭11

起利錦

KIRINISHIKI

起利錦利郎（きりにしきとしろう）
【鏡山部屋】群馬県桐生市　本名・山田利郎
二八歳　身長一八六㎝　体重一七一kg　右四つ・寄り
初土俵／五三年三月　新入幕／六一年七月
三八三勝三六〇敗　場所数／七九　金星／二

東前頭12

若花田

WAKAHANADA

若花田勝（わかはなだまさる）
【藤島部屋】東京都中野区　本名・花田　勝
二〇歳　身長一七八㎝　体重一二六kg　左四つ・寄り
初土俵／六三年三月　新入幕／二年九月
一〇七勝六〇敗　場所数／一九

西前頭11

隆三杉

TAKAMISUGI

隆三杉太一（たかみすぎたかかつ）
【二子山部屋】神奈川県川崎市　本名・金尾　隆
三〇歳　身長一七九㎝　体重一四六kg　押し
初土俵／五一年三月　新入幕／五六年七月
五三〇勝五一九敗
場所数／九一　金星／一

西前頭12

春日富士

KASUGAFUJI

春日富士晃大（かすがふじあきひろ）
【安治川部屋】神奈川県川崎市　本名・岩永祥紀
二五歳　身長一八〇㎝　体重一三七kg　突き・押し
初土俵／五六年三月　新入幕／元年三月　敢闘賞／一回
二八八勝二七七敗　場所数／六一

東前頭13 貴花田

TAKAHANADA

貴花田光司（たかはなだこうじ）
【藤島部屋】東京都中野区 本名・花田光司
一八歳 身長一八六㎝ 体重一二九kg 右四つ・寄り
初土俵／六三年三月 新入幕／二年五月
一一一勝七二敗 場所数／一九

東前頭14 小城花

OGINOHANA

小城ノ花昭和（おぎのはなあきかず）
【出羽海部屋】千葉県市川市 本名・小岩井昭和
二三歳 身長一八八㎝ 体重一四四kg 左四つ・寄り
初土俵／五八年七月 新入幕／二年一月
二二〇勝一六〇敗 場所数／四七

西前頭13 水戸泉

MITOIZUMI

水戸泉政人（みといずみまさと）
【高砂部屋】茨城県水戸市 本名・小泉政人
二八歳 身長一九二㎝ 体重一七九kg 左四つ・寄り・吊り
初土俵／五三年三月 新入幕／五九年九月
殊勲賞／一回 敢闘賞／五回
四二〇勝三二一敗 場所数／七九

西前頭14 琴の若

KOTONOWAKA

琴の若實哉（ことのわかみつや）
【佐渡ヶ嶽部屋】山形県尾花沢市 本名・今野満也
二三歳 身長一九一㎝ 体重一五一kg 突き・押し
初土俵／五九年五月 新入幕／二年一月
一八四勝一一五敗 場所数／四二

十両
JYURYO

東十両1

両国
RYOGOKU

【出羽海部屋】長崎県長崎市 本名・小林秀昭
二八歳 身長一八三㎝ 体重一七三kg 右四つ・寄り
初土俵／六〇年三月 新十両／六一年三月
殊勲賞／一回 敢闘賞／一回
二四五勝二三二敗 場所数／三七 金星／三

東前頭15

豊ノ海
TOYONOUMI

豊ノ海真二(とよのうみしんじ)
【藤島部屋】福岡県豊前市 本名・濱田真一
二五歳 身長一九〇㎝ 体重一八七kg 左四つ・寄り
初土俵／五六年三月 新入幕／六三年一一月
三〇五勝二七六敗 場所数／六一

西十両1

栃司
TOCHITSUKASA

【春日野部屋】愛知県名古屋市 本名・後藤哲雄
三三歳 身長一七九㎝ 体重一五八kg 突き・押し
初土俵／五六年三月 新十両／五七年一月
敢闘賞／一回 技能賞／一回
四一二勝三八三敗 場所数／六一 金星／三

西前頭15

常の山
TSUNENOYAMA

常の山勝正(つねのやまかつまさ)
【出羽海部屋】鹿児島県西之表市 本名・橋本重和
二八歳 身長一八〇㎝ 体重一一九kg 右四つ・上手出投げ
初土俵／五五年七月 新入幕／三年三月
二七三勝二三五敗 場所数／六五

玉龍
東十両2
TAMARYU

【片男波部屋】長崎県長崎市　本名・永田大蔵
三六歳　身長一八九cm　体重一三五kg　右四つ・吊り
初土俵／四五年一月　新十両／五四年五月
六六八勝六七一敗　場所数／一一八　金星／一

琴稲妻
東十両3
KOTOINAZUMA

【佐渡ヶ嶽部屋】群馬県利根郡新治村　本名・田村昌浩
二八歳　身長一八〇cm　体重一三四kg　右四つ・寄り
初土俵／五三年三月　新十両／六〇年五月
四一〇勝四〇二敗　場所数／七九

旭里
西十両2
ASAHISATO

【大島部屋】大阪府池田市　本名・増田憲治
二五歳　身長一八六cm　体重一三五kg　右四つ・寄り・上手投げ
初土俵／五六年三月　新十両／元年一月
二七六勝二四一敗　場所数／六一

多賀竜
西十両3
TAGARYU

【鏡山部屋】茨城県日立市　本名・黒谷昇
三三歳　身長一七八cm　体重一四二kg　右四つ・寄り・投げ
初土俵／四九年三月　新十両／五六年一月
優勝／一回　敢闘賞／一回　技能賞／一回
五五六勝六〇五敗　場所数／一〇三　金星／一

東十両4

芳昇

YOSHINOBORI

【熊ヶ谷部屋】福岡県福岡市　本名・石原義幸
二三歳　身長一七八㎝　体重一二一㎏　突き・押し
初土俵／五九年三月　新十両／二年七月
一八二勝一三一敗　場所数／四三

東十両5

剛堅

GOKEN

【高砂部屋】兵庫県伊丹市　本名・森田耕平
二六歳　身長一八五㎝　体重一六九㎏　右四つ・寄り
初土俵／五五年九月　新十両／元年一一月
二五〇勝二〇一敗　場所数／六四

西十両4

大輝煌

DAIKIKO

【武蔵川部屋】和歌山県御坊市　本名・林　正人
二三歳　身長一八四㎝　体重一六〇㎏　右四つ・寄り
初土俵／二年三月　新十両／二年一一月
四〇勝一八敗　場所数／七

西十両5

大若松

OWAKAMATSU

【大鵬部屋】埼玉県越谷市　本名・若松好弘
二四歳　身長一八七㎝　体重一四六㎏　左四つ・寄り・上手投げ
初土俵／五七年三月　新十両／六三年九月
二五〇勝二二五敗　場所数／五五

東十両 6

大翔鳳

DAISHOHO

【立浪部屋】北海道札幌市 本名・村田昌巳
二三歳 身長一八八㎝ 体重一四三kg 突っ張り
初土俵／二年一月 新十両／三年一月
四二勝一五敗 場所数／八

東十両 7

玉海力

TAMAKAIRIKI

【片男波部屋】東京都渋谷区 本名・河辺幸夫
二四歳 身長一八四㎝ 体重一四〇kg 右四つ突き
初土俵／五七年三月 新十両／元年九月
二三五勝二〇〇敗 場所数／五五

西十両 6

薩洲洋

SASSHUNADA

【井筒部屋】鹿児島県指宿市 本名・吉崎克幸
三三歳 身長一八三㎝ 体重一五一kg 突き・押し
初土俵／五一年一月 新十両／五九年七月
四九二勝四六一敗 場所数／九二

西十両 7

大善

DAIZEN

【二所ノ関部屋】大阪府大阪市 本名・高橋徳夫
二六歳 身長一八九㎝ 体重一四七kg 左四つ・寄り
初土俵／五六年三月 新十両／六三年三月
二三〇勝一八五敗 場所数／六一

東十両 8

大岳

DAIGAKU

【時津風部屋】滋賀県草津市 本名・横江英樹
二五歳 身長一八五cm 体重一五二kg 左四つ・寄り
初土俵／五八年三月 新十両／三年一月
一九一勝一四六敗 場所数／四九

東十両 9

熊翁

KUMAO

【高砂部屋】埼玉県熊谷市 本名・佐藤洋之
二五歳 身長一七六cm 体重一一九kg 両差し・寄り
初土俵／五六年三月 新十両／二年三月
二三二勝二〇九敗 場所数／六一

西十両 8

佐賀昇

SAGANOBORI

【押尾川部屋】佐賀県藤津郡塩田町 本名・林 博
二九歳 身長一九二cm 体重一一五kg 左四つ・寄り・投げ
初土俵／五二年三月 新十両／六一年九月
三九〇勝三七五敗 場所数／八五

西十両 9

旭豪山

KYOKUGOZAN

【大島部屋】千葉県市川市 本名・木村泰山
二三歳 身長一八〇cm 体重一七二kg 突き・押し
初土俵／五九年三月 新十両／六三年一一月
二一三勝一八六敗 場所数／四三

東十両11

龍ヶ浜

RYUGAHAMA

【時津風部屋】静岡県浜松市 本名・柴田広宣
二七歳 身長一八六cm 体重一四六kg 左四つ・寄り
初土俵／五六年一月 新十両／二年九月
二三九勝二〇九敗 場所数／六二

東十両10

琴白山

KOTOHAKUSAN

【佐渡ヶ嶽部屋】石川県小松市 本名・釜野俊也
二九歳 身長一八三cm 体重一三一kg 右四つ・下手投げ
初土俵／五二年五月 新十両／元年九月
三二五勝二九二敗 場所数／八四

西十両11

鬼雷砲

KIRAIHO

【高田川部屋】神奈川県横浜市 本名・内間良二
二五歳 身長一八七cm 体重一五四kg 右四つ・寄り
初土俵／五六年三月 新十両／六三年三月
二六五勝二三三敗 場所数／六一

西十両10

浪ノ花

NAMINOHANA

【二子山部屋】青森県南津軽郡浪岡町 本名・工藤和博
二三歳 身長一七七・五cm 体重一二五kg 押し
初土俵／五九年五月 新十両／二年一一月
一六九勝一二六敗 場所数／四二

東十両12

剣晃

KENKO

【高田川部屋】大阪府守口市 本名・星村敏志
二三歳 身長一八九cm 体重一一八kg 左四つ・寄り
初土俵／五九年一一月 新十両／三年三月
一四九勝一一四敗 場所数／三九

東十両13

貴浪

TAKANONAMI

【藤島部屋】青森県三沢市 本名・浪岡貞博
一九歳 身長一九五cm 体重一四五kg 左四つ・寄り
初土俵／六二年三月 新十両／三年三月
九四勝六二敗 場所数／二五

西十両12

舞の海

MAINOUMI

【出羽海部屋】青森県西津軽郡鯵ケ沢町 本名・長尾秀平
二三歳 身長一七四cm 体重九一kg 左四つ・下手投げ
初土俵／二年五月 新十両／三年三月
二六勝九敗 場所数／六

西十両13

盛風力

SEIFURIKI

【押尾川部屋】青森県西津軽郡稲垣村 本名・佐藤秀彦
二四歳 身長一八五cm 体重一一〇kg 左四つ・寄り
初土俵／五七年三月 新十両／三年三月
二〇五勝一六六敗 場所数／五五

平成二年のでき事　あれこれ

『初場所』（一月七日初日、両国国技館）

東正横綱は千代の富士。初日から13連勝。14日目に小錦に敗れたが、千秋楽大乃国に勝って14勝1敗。2場所ぶり30回目の優勝を飾った。国民栄誉賞に輝いた千代の富士は初場所初日に二子山理事長（元横綱初代若乃花）から、平山郁夫画伯作の富士山の絵が贈られた。

前年の九州場所に〝涙の初優勝〟をして、連続優勝、一気に横綱昇進を狙った大関小錦は10勝5敗に終ったが、終盤に3横綱に勝って気を吐いた。

協会はなるべく関脇以下に張り出しを作らない方針だが、前場所小結水戸泉が11勝4敗と好成績を挙げ、東西の関脇も勝ち越して、関脇が三人となって、寺尾が東張出関脇となった。張出関脇は昭和60年秋場所の琴風以来26場所ぶりのことだった。

三賞は殊勲賞が東小結の霧島。11勝4敗の成績で北勝海、大乃国の2横綱と小錦、北天佑の2大関を倒した殊勲星が光る。敢闘賞は東前頭4枚目で10勝5敗の栃乃和歌。技能賞は該当者無しだった。

初場所中の一月十日に春日野前理事長（元横綱栃錦）が亡くなられた。国からは相撲界としては過去最高の従四位、勲二等瑞宝章が贈られた。

『春場所』（三月十一日初日、大阪府立体育会館）

13勝2敗が三人。ともえ戦による決定戦の末に勝利を収めたのは横綱北勝海だった。北勝海、小錦、関脇霧島の優勝決定戦は沸きに沸いた。

小錦が北勝海を寄り切り。こんどは霧島が小錦を寄り切り。そして再び登場の北勝海が霧島を押し出し。2連勝しなければ栄冠はつかめない仕組になっているともえ戦。再び北勝海―小錦戦となったが、北勝海が横綱の意地と気迫をみせ、小錦を左下手投げに破り逆転優勝を決めた。幕内の三人による優勝決定戦は25年ぶりのことだった。

春場所をにぎわせた大きな話題に千代の富士の前人未踏の通算１０００勝達成があった。七日目、千代の富士は花ノ国を豪快に掬い投げで土俵にたたきつけて、立行司木村庄之助から１０００回目の勝ち名のりを受けた。

殊勲賞と技能賞を受賞した霧島が場所後大関に昇進した。霧島は昭和50年春場所が初土俵で91場所を要しての大関昇進は、隆の里（現鳴戸親方）の82場所を大きく破るスロー出世新記録。すでに引退している元大関若島津（現松ヶ根親方）とは初土俵が一緒だ。

『夏場所』（五月十三日初日、両国国技館）

大関旭富士が長いスランプを脱出して14勝1敗で2度目の優勝。

新大関霧島の登場で、土俵がピリッとしまって、六日目まで横綱、大関は全員白星を並べた。（大乃国は休場）。七日目に千代の富士に初黒星がついたが、横綱、大関が初日からの6連勝は史上初の快挙だった。その激戦を見事に勝ち抜いたのが旭富士だった。

天皇、皇后両陛下が、夏場所初日の十三日、お揃いで国技館に足を運ばれ、中入り後の土俵入りから結びの一番までの幕内全取組をご観戦になられた。天皇陛下ご自身の大相撲観戦は18回目だが、天皇になられてからは初めて。天覧相撲としては昭和62年以来3年ぶりのことである。

夏場所は〝若武者〟貴花田が17歳8ヵ月の史上最年少記録を引っ下げての新入幕の場所でもあった。〝怪童〟といわれた北の湖（現北の湖親方）の18歳7ヵ月を大幅に更新してのものだったが、健闘むなしく4勝11敗と負け越してしまった。

夏場所後に大相撲ブラジル公演が行われた。

『名古屋場所』

（七月八日初日、愛知県体育館）

大関旭富士が連続優勝して、場所後に平成初の横綱が誕生。旭富士は三日目に平幕の両国に不覚を取ったが、その後は気力充実した取り口で勝ち進み、千秋楽に星ひとつ差で追いかけていた千代の富士を右からの掬い投げに倒し、14勝1敗で優勝した。千代の富士が名実ともに天下を取ってから久しいが、3場所続けて他人に賜盃を明け渡したのは珍しい。

旭富士は第63代横綱になったが、青森県出身では隆の里に次いで6人目。大島部屋からは初めての横綱誕生で、土俵入りの型は不知火型と決まった。旭富士が横綱になって千代の富士、北勝海、大乃国の四横綱が揃ったことになり、これは昭和62年九州場所以来だ。

十両では若花田が優勝。たびたび旋風を巻き起こした益荒雄（最高位関脇）が引退した。名古屋場所が本場所になったのは昭和33年からだが、初めて15日間満員御礼の垂れ幕が下がった。

『秋場所』

（九月九日初日、両国国技館）

東正横綱千代の富士は夏巡業のけいこ中に左足を痛め、その経過がよくないため休場したが、その穴を北勝海、旭富士の両横綱が埋め、白熱した十五日間となった。

新横綱旭富士は初日から12連勝と快調に白星街道を突っ走ったが、十三日目に霧島の怪力につかまって初黒星。初日に黒星スタートを切った北勝海が二日目から立ち直って勝ち進み、千秋楽の1敗同士の激突で北勝海が旭富士に勝って、またしても大逆転優勝をした。北勝海にとっては7回目の優勝。

秋場所の土俵に新風を吹き込んだのは新入幕の四力士で、全員が勝ち越して土俵を盛り上げた。その新入幕の中での大暴れＮＯ１は貴闘力で11勝4敗で敢闘賞受賞。若い力士の活躍の影で、引退していく力士も多かった。大器といわれた大関北天佑が七日目に引退を発表した。千秋楽には個性派の大徹（最高位小結）も現役を退いた。

皇太子殿下が八日目をご観戦になられた。また四日目には折りから来日中の国際オリンピック委員会（ＩＯＣ）のサマランチ会長夫妻らが観戦した。

『九州場所』

（十一月十一日初日、福岡国際センター）

平成二年締めくくりの場所を制覇したのは千代の富士。31回目の優勝だった。大乃国は再起を飾る10勝の二けた勝利。四横綱二大関皆勤の場所で幕内力士に休場者はいなかった。

三賞は殊勲賞琴錦、安芸ノ島。敢闘賞曙。技能賞琴錦。新関脇で二けた勝利。琴錦は4場所連続三賞受賞だが、3場所続けての殊勲賞で、一気に大関候補に浮上した。安芸ノ島は旭富士、北勝海の両横綱に勝って通算11個目の金星獲得。史上2位に躍り出た。曙はハワイ出身。幕内2場所目だが、現役最長身の２０４㌢が魅力の力士だ。

貴花田の再入幕で若花田との兄弟同時幕内が実現した。兄弟同時幕内は史上3組目だが、どちらも10代の幕内力士ということでは花田兄弟が初めてだ。

旭富士が70勝20敗で、二度目の年間最多勝に輝いた。九州場所千秋楽、立行司二十七代木村庄之助が65歳の定年で土俵を去った。

土俵の作法

二字口で四股を踏む

力水

礼に始まり礼に終わる、のが相撲道です。控え力士が呼出し、行司に呼び上げられて、二字口で先ず一礼します。

「二字口」とは、土俵上の東西の上がり口のところを言います。徳俵と並行して小さな俵が埋めてありますが、これが〝二〟の字の形になっているところから「二字口」と言います。力士はここに足をかけて土俵に上がります。勝負が終わったあとも相手力士と合わすようにして礼をし、土俵を下ります。

〝相撲の殿様〟として有名だった酒井忠正伯は「相撲随筆」という本の中で次のように書いています。

「相撲は礼に始まり礼に終わる。終戦と同時に礼儀まで追放してしまった世の中でも、此世界には礼がある。礼に終始する相撲を見れば心を打たれるものがある。それを此夏場所眼のあたり見せて呉れたのが玉ノ海だ。十一日目、玉ノ海と大蛇潟の一戦で大蛇潟のするどい寄りで正面土俵につまった玉ノ海が土俵際に堪えて打棄らうとするのを浴せ倒して二人は重なりあって土俵下に落ちた。ゴツンという音がしたが、玉ノ海は起き上れない。昏倒してしまったのだ。水で冷すやら何かと手当をしてやっと気がついた。相手の大蛇潟や弟子達に助けられて立上り、無理に土俵に上って礼をしようとするのを出羽海に止められ、弟子の肩につかまりながら溜を通って花道にかかった。其時行かうとする弟子を止め、土俵下で正面に向き直り、正しく礼をして又

肩につかまって引込んで行った。実に立派な態度だった。支度部屋に戻ると又打ふせになってしまったということだった。
　行司の作法、力士の動作、相撲の美しさは外面的にも、内面的にも此礼によって構成されている。

投げられて礼してはいる角力哉　立吟

二字口で礼をした力士は、東なら赤房、西なら白房下で四股を踏み、「力水」をつけます。
　相撲場における水の使用は、江戸時代からです。東西の花道に面した赤房と白房の土俵下に水桶があり、力士がうがいをしたり身を清めたりするので「力水」とも「化粧水」とも「清めの水」とも称しています。これを勝ち力士か控え力士から柄杓で受け土俵上の出番の力士が口をすすぎます。決して負け力士が水をつけることはありません。結びの力士が二番とも続けて負けた場合は、その力士の付け人がまわし姿になって水をつけることになっています。

塩をまく

　「力水」をつけた力士は塩を土俵中央に向けてまいて、それぞれの側の徳俵で「塵浄水（ちりちょうず）」を切ります。
　お互いに正々堂々と闘うという意味でこの動作を行います。昔、野外で相撲を取っていたところ、雑草をむしりとって手を清めたのがはじめとされます。蹲踞の姿勢のまま、両の掌（てのひら）でもみあげたあと、かしわ手を打って両手を大きく左右に開きます。そしてはじめ上に向けた掌を下に返します。これは「私はなんの武器も持っていない」ということを示す意味があります。
　蹲踞とは基本姿勢の一つで、ツマ先立ちで

塵浄水

四股を踏む

深く腰を下ろし、十分に膝を開き、上体を正しくして重心を安定させた姿勢をいいます。このとき大事なのは胸を張り、肩の力を抜くことです。下半身の硬い外人や、新弟子ははじめのうち蹲踞の姿勢がなかなかできません。

手にいっぱい塩をつかんで高々とまく力士もいれば、ちょっぴりとつまんで足もとにさりげなくまく力士と各自各様の塩まきスタイルですが、土俵上に塩がまかれるようになったのは江戸時代からです。土俵を戦場とみなし、神聖視する力士たちは、塩をまくことで土俵の邪気を祓い清めようとします。そんな意味があるところから「清めの塩」といいます。

塩をまくのは土俵を清めるほかに、土俵上でのスリ傷やキリ傷のときなどの化膿止めにもなり、生活の知恵でもあるのです。一日平均40キロ以上が使用され、十五日間の総使用量は600キロを軽く越します。

力水をつけ、塩をまくのは原則的に十両以上の関取に限られています。

二字口で塵を切り、正々堂々と戦うことを誓った力士は、清めの塩を撒いて土俵中央に進んで、相手力士と合わせて四股を踏みます。

四股は相撲の重要な基本動作です。土俵上での四股踏みは、準備運動として行いますが、腰、膝、足首、ツマ先などを強化するけいこ法です。まず両足を左右に開いて中腰に構えます。足幅は膝の角度が直角になるぐらいです。足を左右、かわるがわりに高く上げます。このとき膝に手を添え、力を入れてツマ先から外の方に砂をはじき飛ばすように地面を踏みます。支える側、すなわち軸足はピンと伸ばし、手のひらで膝をすこし強く押さえます。大事なのはアゴを引くことで、前方を正視する姿勢がよいとされています。四股をきちんと踏むのは見ていても気持ちがいいものです。

仕切りを繰り返していくうちに、力士の肌は紅潮してきます。昔は仕切り時間の制限はありませんでしたが、昭和三年一月のラジオ中継を機会に、初めて仕切り制限時間が制定されました。

場所	幕内	十両	幕下
昭和三年一月	10分	7分	5分
昭和十七年一月	7分	5分	3分
昭和二十年十一月	5分	4分	3分
昭和二十五年九月	4分	3分	2分

制限時間と同時に仕切り線も制定されました。以前は60㌢間隔でしたが。現在は70㌢に広げられています。土俵中央に白エナメルで塗られていますが線の長さは90㌢、幅は6㌢。場所中は毎日取組が終了したあと、呼出しが塗り替えます。この仕切り線より前に手を出してはいけないことになっていますが、仕切り線ができる以前は、両力士がおでこをつけ合ったり、土俵の徳俵に足をかけて飛び込んだ力士もいました。

「バランスの奇跡」と立ち合いの妙味を鋭く観察したのはフランスの詩人ジャン・コクトーです。

仕切りと塩まきをくり返す

一回ごとに気合が満ち、両力士の力足がじりじりと砂をかむ。行司軍配が返った。立った。両力士、渾身の力をつくしての攻防が観客を魅了する。ハッケヨイ、ノコッタ、ヨーイ、ハッケヨイ…。投げる。こらえる。押す、押し返す。勝負あり！ 軍配が東に上がった。

両力士、いさぎよく二字口に分かれて礼をする。勝ち力士は徳俵で蹲踞をして、行司の勝ち名のりを受ける。敗者は静かに土俵を下り、花道で再び一礼して引き上げる。好勝負には必ずといっていいほど懸賞が付く。勝ち名のりを受けた力士は蹲踞のまま待ち、軍配の上に乗った懸賞袋を手刀を切って受け取る。

懸賞袋を受け取る勝ち力士が、右手を〝チョン、チョン〟とやるのを「手刀を切る」といいます。これは三つの神様に感謝する意味で行われる作法で左・右・中央を切るのが正式といわれています。左が天御中主神（あま

のみなかぬしのかみ）右が高皇産霊神（たかみむすびのかみ）中央が神皇産霊神（かみむすびのかみ）です。

ところで観客の皆様が気になるのは懸賞金の中身でしょう。勝ち力士の手取りは一本二万円です。好取組だと五本、十本とかかるのがざらですから、一瞬のうちに十数万円が入る計算です。スポンサーは実際には相撲協会に一本あたり四万円を支払っています。そのうちの五千円が取組表の印刷代、場内アナウンス代などの手数料となります。残り一万五千円は力士個人の名前で協会が預金しておきます。そして税金支払いなどにあてられます。懸賞の多くかかる力士はそれだけ人気が高いということにもなります。

千秋楽の結びの三番だけは懸賞の他に、勝ち力士には弓、矢などが与えられます。大関（結びの一番）にかなう勝ち力士には弓、関脇（結び前の一番）にかなう勝ち力士には弓弦、小結（結び二番前）にかなう勝ち力士には矢が与えられます。千秋楽の結びの三番を「これより三役」といいますが、横綱が大関の中の抜群の力士に授けられる尊称であったころの習慣から大関、関脇、小結をさして「三役」といっています。

勝った力士は、次の力士に「力水」をつけます。前日に勝敗を分けた力士に力水をつけることもあれば、明日対戦が決まった相手に力水をつけることもあります。そして勝ち力士は意気揚揚として、胸を張って花道を引き上げます。さあきょうも勝った。「あすはどの手で投げてやるか」。勝ち力士にとって一番気分のよいときです。

勝ち名のりを受ける

手刀を切る

三役揃い踏み（西方）

三役揃い踏み（東方）

平成２年度記録

平成２年度幕内在位勝星順位表

順位	力士名	1月場所 勝－敗	3月場所 勝－敗	5月場所 勝－敗	7月場所 勝－敗	9月場所 勝－敗	11月場所 勝－敗	合計 勝－敗	備考
1	旭富士	9-6	8-7	優勝 14-1	優勝 14-1	13-2	12-3	70-20	優勝2回
2	北勝海	11-4	優勝 13-2	10-5	10-5	優勝 14-1	9-6	67-23	優勝2回
3	小錦	10-5	13-2	12-3	10-5	9-6	10-5	64-26	
4	千代の富士	優勝 14-1	10-5	13-2	12-3	全休	優勝 13-2	休 62-13-15	優勝2回
〃	霧島	殊勲賞 11-4	殊勲賞 技能賞 13-2	9-6	休 6-2-7	13-2	10-5	休 62-21-7	殊勲賞2回 技能賞1回
6	安芸ノ島	8-7	殊勲賞 8-7	殊勲賞 技能賞 10-5	敢闘賞 9-6	6-9	殊勲賞 10-5	51-39	殊勲賞3回 敢闘賞1回 技能賞1回
7	琴錦	8-7	4-11	敢闘賞 9-6	殊勲賞 9-6	殊勲賞 9-6	殊勲賞 技能賞 10-5	49-41	殊勲賞3回 敢闘賞1回 技能賞1回
8	栃乃和歌	敢闘賞 10-5	8-7	4-11	8-7	9-6	8-7	47-43	敢闘賞1回
9	隆三杉	9-6	6-9	8-7	8-7	6-9	9-6	46-44	
〃	起利錦	9-6	6-9	9-6	7-8	6-9	9-6	46-44	
11	三杉里	8-7	6-9	8-7	9-6	4-11	10-5	45-45	
12	寺尾	7-8	8-7	7-8	8-7	9-6	5-10	44-46	
〃	琴富士	8-7	9-6	8-7	4-11	7-8	8-7	44-46	
14	若瀬川	5-10	9-6	5-10	9-6	6-9	8-7	42-48	
〃	旭道山	8-7	6-9	5-10	9-6	6-9	8-7	42-48	
16	琴ヶ梅	8-7	7-8	6-9	8-7	4-11	7-8	41-49	
〃	陣岳	9-6	4-11	8-7	8-7	3-12	9-6	41-49	
18	花ノ国	8-7	5-10	8-7	4-11	10-5	5-10	40-50	
〃	太寿山	8-7	4-11	9-6	5-10	8-7	6-9	40-50	
〃	春日富士	3-12	9-6	4-11	敢闘賞 10-5	6-9	8-7	40-50	敢闘賞1回
〃	豊ノ海	7-8	7-8	8-7	9-6	3-12	6-9	40-50	

平成２年度優勝力士

	幕内	十両	幕下	三段目	序二段	序ノ口
1月場所	東横綱 千代の富士 (九重) 14勝1敗 30回目	西 7 益荒雄 (押尾川) 12勝3敗 4回目	東 24 山崎 (立浪) 7戦全勝	西 16 大石田 (大鵬) 7戦全勝	東 96 大空 (東関) 7戦全勝	東 31 源勇山 (二子山) 7戦全勝
3月場所	西横綱 北勝海 (九重) 13勝2敗 6回目	東 2 益荒雄 (押尾川) 10勝5敗 5回目	東 4 山崎 (立浪) 7戦全勝 2回目	西 65 天城洲 (出羽海) 7戦全勝	西 78 秀ノ花 (放駒) 7戦全勝	西 16 鳳龍 (放駒) 7戦全勝
5月場所	西張出大関 旭富士 (大島) 14勝1敗 2回目	西 11 大翔山 (立浪) 12勝3敗	西 37 林 (武蔵川) 6勝1敗	東 40 武蔵丸 (武蔵川) 7戦全勝	東 16 佐々木 (時津風) 7戦全勝	西 15 太田 (若松) 7戦全勝
7月場所	東大関 旭富士 (大島) 14勝1敗 3回目	東 2 若花田 (藤島) 12勝3敗	西 15 時津洋 (時津風) 7戦全勝	西 23 古賀 (友綱) 7戦全勝	東 82 須川 (出羽海) 7戦全勝	西 40 南山 (大鳴戸) 6勝1敗
9月場所	東張出横綱 北勝海 (九重) 14勝1敗 7回目	西 2 小城ノ花 (出羽海) 11勝4敗 2回目	西 4 林 (武蔵川) 7戦全勝 2回目	西 48 紫尾山 (井筒) 7戦全勝	東 19 将風 (尾車) 7戦全勝	西 41 神生岩 (東関) 7戦全勝
11月場所	東張出横綱 千代の富士 (九重) 13勝2敗 31回目	西 9 大輝煌 (武蔵川) 11勝4敗	東 4 立洸 (立浪) 7戦全勝	西 45 名城國 (友綱) 7戦全勝	西 90 琴別府 (佐渡ヶ嶽) 7戦全勝	東 34 中谷 (北の湖) 7戦全勝

平成２年度三賞受賞力士

	殊勲賞	敢闘賞	技能賞
1月場所	小結 霧島	前4 栃乃和歌	該当者なし
3月場所	関脇 霧島 前2 安芸ノ島	前6 両国 前14 久島海	関脇 霧島
5月場所	前1 安芸ノ島	前6 琴錦 前9 孝乃富士	前1 安芸ノ島
7月場所	前1 琴錦	関脇 安芸ノ島 前12 春日富士	該当者なし
9月場所	小結 琴錦	前13 貴闘力	該当者なし
11月場所	関脇 琴錦 前1 安芸ノ島	前7 曙	関脇 琴錦

通算出場記録

順位	力士名	回数
1	大潮	1891
2	高見山	1654
3	青葉城	1630
4	富士櫻	1613
5	麒麟児	1562
6	蔵間	1552
7	魁輝	1532
8	大錦	1490
9	千代の富士	1470(現役)
10	巨砲	1441(現役)

不戦敗は休みとする

通算勝星数記録

順位	力士名	勝利数
1	千代の富士	1044(現役)
2	大潮	964
3	北の湖	951
4	大鵬	872
5	高見山	812
6	青葉城	789
7	富士櫻	788
8	北の富士	786
9	麒麟児	773
10	蔵間	765

幕内在位場所数記録

順位	力士名	場所数
1	高見山	97
2	麒麟児	84
3	千代の富士	79(現役)
4	北の湖	78
5	出羽錦	77
	鶴ヶ嶺	77
7	富士櫻	73
8	黒姫山	72
	巨砲	72(現役)
10	貴ノ花	70

通算連続出場記録

順位	力士名	回数	備考
1	青葉城	1630	39/5より61/7 11日目
2	富士櫻	1543	38/5より59/1 3日目
3	高見山	1425	39/5より56/9初日
4	大竜川	1367	36/3より54/5 4日目
5	飛騨乃花	1297	44/5より平成元/1千秋楽
6	蜂矢	1263	43/11より62/7千秋楽
7	白田山	1202	34/9より52/5千秋楽
8	大徹	1199	46/9より平成2/9千秋楽
9	大旺	1156	40/3より56/9千秋楽
10	青ノ里	1146	28/3より44/3 4日目

初土俵以来無休

幕内勝星数記録

順位	力士名	勝利数
1	千代の富士	806(現役)
2	北の湖	804
3	大鵬	746
4	高見山	683
5	輪島	620
6	柏戸	599
7	北の富士	592
8	麒麟児	580
9	貴ノ花	578
10	琴櫻	553

幕内出場回数記録

順位	力士名	回数
1	高見山	1430
2	麒麟児	1221
3	鶴ヶ嶺	1128
4	出羽錦	1094
5	富士櫻	1083
6	黒姫山	1080
	巨砲	1080(現役)
8	千代の富士	1049(現役)
9	北の湖	1043
10	長谷川	1024

不戦敗は休みとする

幕内連続出場記録

順位	力士名	回数	備考
1	高見山	1231	43/1より56/9初日
2	巨砲	1080(現役)	54/3より
3	黒姫山	1065	44/11より56/7千秋楽
4	長谷川	1024	40/1より51/5 4日目
5	大晃	945	25/9より38/9千秋楽
6	青ノ里	885	34/1より43/9千秋楽
	金城	885	49/9より59/5千秋楽
8	北の湖	863	47/5より56/11 8日目
9	清国	831	38/11より48/1 6日目
10	麒麟児	781	55/1より63/9初日

三賞受賞回数記録

順位	力士名	回数	殊勲	敢闘	技能
1	鶴ヶ嶺	14	2	2	10
	朝潮	14	10	3	1
3	大受	11	4	1	6
	高見山	11	6	5	
	麒麟児	11	4	4	3
	北勝海	11(現役)	3	3	5
7	栃錦	10	1		9
	北の洋	10	4	1	5
	栃東	10	4		6
	魁傑	10	2	7	1
	出羽の花	10	1	5	4
	小錦	10(現役)	4	5	1

金星獲得回数記録

順位	力士名	個数
1	高見山	12
2	安芸ノ島	11(現役)
3	北の洋	10
	安念山	10
	鶴ヶ嶺	10
	出羽錦	10
	巨砲	10(現役)
8	三根山	9
	玉乃海	9
	長谷川	9
	富士櫻	9

(平成3年1月場所終了現在)

3月場所ご案内

料理・飲食・みやげ品の御注文について

※当日御入場の際、御席での料理、飲食、みやげ物については各案内所で承っておりますのでお申しつけ下さい。

尚、御招待等の場合は、電話での御予約も致しますので御予算の範囲内で御接待申し上げます。又、館内には、食堂、売店もございますので御利用下さい。

※お忘れ物、遺失物がありましたら、お席番号を確かめて相撲協会事務所又は各案内所へお申し出下さい。電話（六三一）〇一二〇

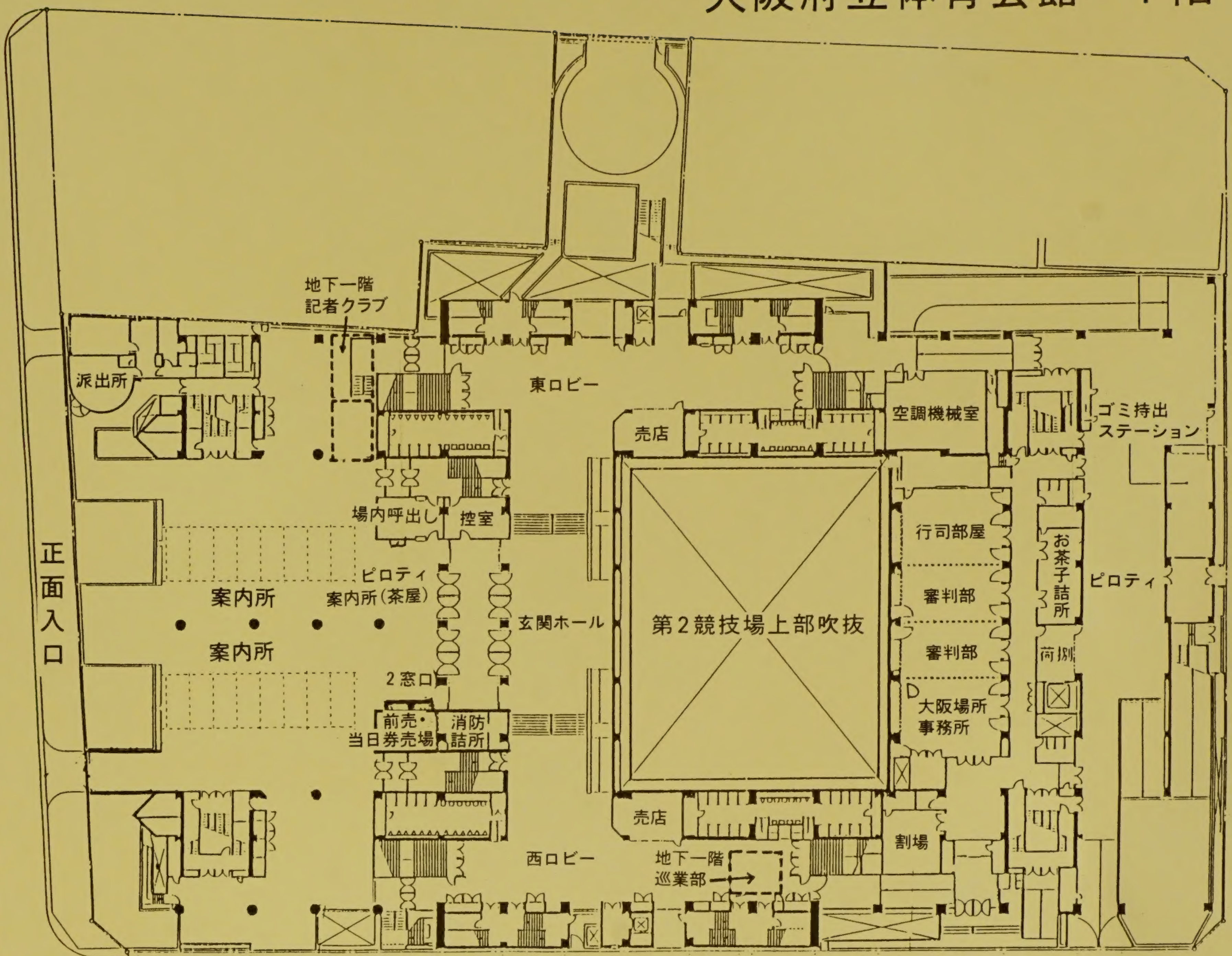
相撲案内所

玉河屋 633－6142	勝恵美 633－5942
やぐら 633－6242	天野 633－6742
初富 633－6183	本家 641－3692
花月 633－6342	二葉 633－5642
新大錦 633－6483	竹亭 633－5742
増喜 633－6583	静松 633－5883
三都屋 633－6642	千鳥屋 633－2979
市力 633－3083	いづみ 633－3285

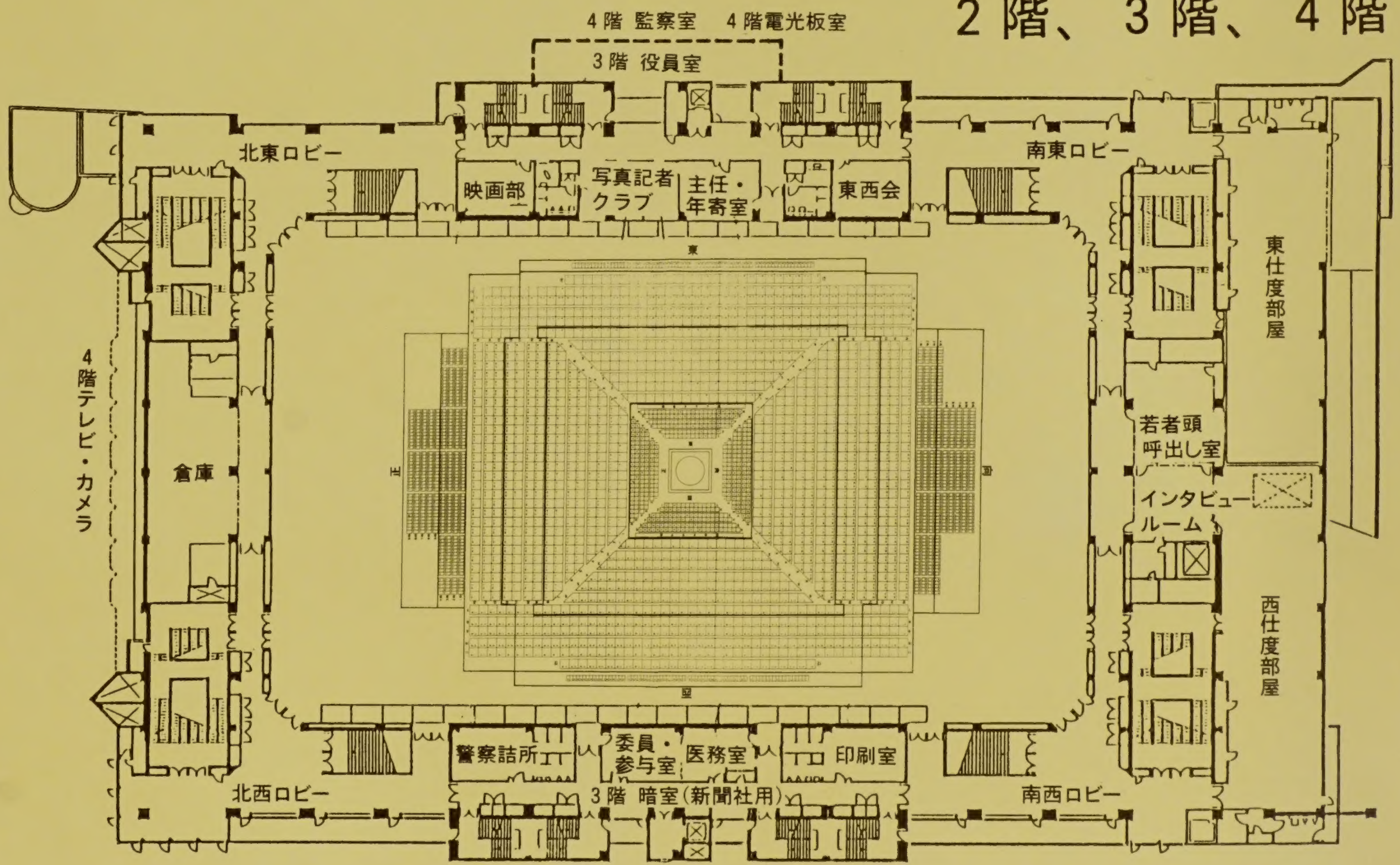
※相撲案内所にても前売を致しております。

館内案内図

大阪府立体育会館・1階



2階、3階、4階



大阪府立体育会館・交通ご案内

南海電鉄 —— 難波下車2分

地下鉄 —— なんば下車2分

発行　平成3年3月10日
発行所　東京都墨田区横網1丁目3番28号
発行者　日本相撲協会
監修　時津風勝男
印刷所　精工印刷株式会社

＊本誌掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。

定価　450円

おねがい

○交通混雑と自動車による公害の発生を抑制するため、マイカーでの御来場は御遠慮下さい。

○おたばこは火災予防その他危険防止、公衆衛生のため必ず喫煙所又は廊下の灰皿をご利用下さるようお願い申し上げます。

○殿方・ご婦人用お手洗は東西南北と二階四隅にございます。

○非常口は両側にございます。

〈生〉の愛称。黒ラベル。

ビールのうまさは〈生〉で語れ。

日本の本格的な生ビール時代はこのビールから始まりました。1977年誕生。以来、代表的な生ビールとして知られています。ビール本来の爽やかさと、あきないうまさ。オーソドックスのすばらしさは、ビール党のノドを魅了しつづけます。いつからかつけられた愛称――〈黒ラベル〉。それは、生ビールの代名詞です。

サッポロ〈生〉
黒ラベル

サッポロビール株式会社 ●未成年者の飲酒は法律で禁じられています。

ご協力のお願い：酒類小売業における公正競争規約により、自動販売機による酒類の販売は、午後11時から午前5時まで停止されています。

SAPPORO
私たちは味わいライフを追求します。

初代式守伊之助義則使用の軍配

明和４年（1767）より寛政５年（1793）まで
26年間土俵をつとめたとき使用した軍配。

1991.3.

財団法人　日本相撲協会